

新設「道の駅」に地元の要望、温泉施設を造って！

末宗県議が県議会で一般質問

地元の末宗秀雄県議が12月開催の県議会で宇佐市が基本構想も決定し、取り組んでいる「道の駅」(通称)について質問するという事を聞き、12月3日北馬城まちづくり協議会の後藤会長他1名が県議会で傍聴に行った。

当日の「道の駅」関係の質疑応答(要旨)を次の通り報告します。

末宗県議は道の駅計画にある北馬城地区は宇佐神宮から近く、国東半島の入口に当たります。完成すれば、県外観光客に魅力を効果的に発信できます。宇佐市の新たな道の駅の整備計画について、県としてどう捉え、どのように支援していくのか伺います。と質問した。

これに対して、阿部土木建築部長は計画が更に具体化される中で、活用可能な補助金を提案し、積極的な支援に努めます。と答弁した。

また、知事に対し、再質問した。地元の要望で非常に強いものであります。知事は「おんせん県おおいた」と、大分県を全国に売ろうとしています。宇佐市では予算の関係もあり、温泉について手が付けられていません。新しい道の駅は宣伝効果が高い場所に計画されています。大分県の財政も厳しいと思いますが、財政の厳しい宇佐市では到底無理ですので大分県の貴重な財源で温泉を造って頂けないでしょうか。心の底からお願いします。と。

これに対し、知事は大変、財政の厳しい時でございますから、財政の効率的な活用の観点からもよく考えていきたい。と答弁した。

また、12月20日に道の駅説明会が開催されました。

宇佐市土木課からの呼びかけにより、北馬城地区まちづくり協議会に対し、基本構想(案)が説明されました。

【概要】地元からの要望は①中津の道の駅に負けないような規模のものにならないのか。②トイレの位置は。③展示ブースを設ける文化財の展示ができるように。④軽トラ市ができるような場所はあるか。⑤防災エリアでは何をやるのか。などに対し、①業績が上がれば拡張も検討される。②何度も検討した(右図赤の所)③準備している。展示するものを検討して欲しい。④イベント広場を準備している。駐車場ではできない。⑤降雪時のチェーンや被災時の自衛隊や車両の待機、避難設備など。と説明があった。次回も出席しましょう



軽トラ市、出店が多く、櫻井昭成氏空地で開催

12月2日(日)第3回軽トラ市が開催されました。西屋敷、金丸、出光、岩崎、橋津、和気、日足、の各地区とよりの郷や個人商店の出店もあり、12店舗となりました。売り上げは集計中ですが、昨年同時期を少し上回った模様です。次回はなお一層の呼びかけが必要ですね。一方、宇佐駅前が理想ではあるが、スペースに問題があり・・・、道の駅の早期竣工を待ちましょう。



金丸地区



西屋敷地区



日足地区



和気地区

第3回「北馬城の未来を熱く語る会」に30人集う

12月18日、第3回「北馬城の未来を熱く語る会」を開催しました。今回は4件のアイデアが提出され、提案者によりアイデアの素晴らしさが熱く発表され、質疑応答が行われました。

今回の提案は(1)道の駅に北馬城ギャラリー（文人と現在アーティスト展）、(2)万年青の展示と販売、(3)永松勝海氏（九州歯科大の初代学長）の生家跡の整備と顕彰碑。(4)北馬城音頭を作ってはどうか(5)卒業・入学シーズンにUSAを含んだドローン撮影会を行う。などが出され、継続審議され、実施可能なものから行うことになっています。皆さんもこんな方がいいなと思うもんがあれば出してください。この会は大変ユニークな会です。一度、参加してみてもどうでしょうか。

また、ハッピーアイデアチャレンジ部会（矢口部会長）は宇佐市のまち協フェスタで「市長賞」を受賞しました。「マンネリ化の打破、日本一になるものに取り組む」が受賞理由です。



乾杯する永松潤二さん



発表する永松市夫さん



発表する北崎さん



発表する永松さんと古市さん

宇佐クロダマル物語（黒大豆収穫体験）に55人集まる

第3段「黒大豆収穫体験」を12月9日（日）開催しました。参加者には1000円を払ってもらい、現在風のコンバイン収穫と昭和のロマンを感じさせる足踏み脱穀機で脱穀した後、トウミを使って実と殻をわけたり、更に篩で篩ったりと体を動かし労働することを楽しんでもらいました。収穫したクロダマルは欲しい人には手土産（350g）以外に持ち帰ってもらいました。体験終了後は日足の未来電力の工場の見学とその後のクロダマルを使った料理でもてなしました。満足してもらえたことでしょう。



名作「おしん」に75人が涙

平成30年度第2回映写会は橋田壽賀子の名作「おしん」の上映に75人が来場しました。36年前に朝ドラで放映されたものですが現在でも大いに共感できる作品でした。東北の豪雪地を舞台に幼い子供が封建的社会の中で生きていく事の大変な中を健気に一生懸命生きて行く姿に自分をだぶらせて涙した人も多かったようです。本当に感動しました。

123人の笑声が体育館に響く～北馬城の晩秋を楽しむ集い～

第18回「北馬城の晩秋を楽しむ集い」は地元の有志によるアトラクションが余りにも上手すぎて、プロ顔負けのパフォーマンスに体育館が割れんばかりの拍手喝采でした。奥野忠之さん（トランペット演奏）、崎野章二郎さん（相撲甚句）、河野文利さん（方言小話）大変ありがとうございました。

第2部は例年のごとくプロとノンプロの落語家による落語参席を楽しみました。今年は初めての女性落語家春風亭一花さんを迎えて彩を添えてもらい、新たな発見をしました。得した気がしま～す。

1. 平成30年度第2回「北馬城の歴史を学ぶ会」及び勉強会を11月25日（日）に開催しました。
2. 北馬城地区の企業経営者会議を平成31年1月27日（日）に開催します
3. クロダマル物語豆腐作り体験を平成31年1月20日（日）開催します。

